

大森陽子のフレッシュ便



六・九・十二月議会報告

子育て応援・暮らしの声を市政に届けて



2011年1月8日発行 土佐市蓮池337-15 電話 852-4551 大森陽子

私のJOURNAL

これまで、あんまりご縁がなかった方から相談を受ける機会が増えました。

「大森さんに相談できる義理ではないけど」と話し始める方に対して、「選挙で誰を応援したかは関係ないですよ。お力になれるかどうか分かりませんが、一緒に考えてみましょう。」と、お話を伺います。すべてOK、ということはありませんが、明るいお顔で帰られるとき、私も嬉しくなります。今年もどうかよろしくお願いいたします。

十二月議会報告

中小零細業者支援・経済対策として 住宅リフォーム助成制度を

これは地元の業者に住宅リフォームをお願いした場合、行政が一定の補助をする制度で、景気対策として今、全国に急速に広がっており、十二月一日現在で百七十五の市町村が実施しております。補助の基準はまちまちですが、岩手県宮古市では、市長の「まちの景気対策を」のかけ声で、実現しました。二十万円以上のリフォームに対し、一律十万円の補助をすることを二十二年四月より一年間の時限立法で実施しています。

結果、持ち家の十五%の世帯で、畳替え、襖の張り替え、屋根の塗り替え、台所やトイレの改修などが実施され、まちに活気がでています。市民や地元業者に歓迎され、結果的には税収の伸びもあり、二者両得の制度です。

しかも、制度を実施すれば「きめ細かな交付金」上限六千九百万円を利用することが出来ると、財源を示して提案することができました。

市長も関心を示されており。

皆さんの力で、是非実現させましょう。五年間の議員活動の中で、最高に楽しい提案ができた、わくわくしながら質問しました。

給付型の奨学金制度が実現

就職氷河期の現在、奨学金の返済が若者を苦しめています。ですから一昨年の九月議会よりずっと、金額は少なくても、他の制度と併用して利用できる給付型の奨学金制度を提案してきました。

市長はこれまで検討を約束され、今議会に月一万円の給付型の制度を提案されました。

待ちに待った制度が実現されようとしたのですが、残念ながら利用できる方は新入生に限定され、在學生は受けることができません。

この点などの改善を求め修正動議を提案しましたが、質問も反対意見の表明もなしで否決。賛成したのは私たち二人のみでした。一人一人のお気持ちは、そんなに違っていなかったはずなのに、市民の皆さんの立場に立った判断だったろうかと、残念に思います。

奨学金条例修正の提案理由の説明・骨子

資源のない我が国において、最も大きな資源は人にあります。国づくりは人づくりであり、教育にお金を惜しむべきではないということは、多くの国民の願うところです。現在、学校を卒業しても就職できず、奨学金を借りても返すことが困難な方が増えています。

そういう状況の中で貸し付けではなく、金額は少なくても給付型の奨学金制度を作ることには大変歓迎されるのですが、私達はこの制度をより趣旨に添ったものにするため、次の点を修正するよう提案します。

まず一点目は、対象を新入生に限定しないこと。

二点目は、緊急に必要が生じた方、例えば、家計を支える方の失業、倒産、離別・死別など、家計に急変が生じた場合、この方達を排除してはならないということです。最も援助が必要な方達です。

三点目は、そういうことを考えたとき、制度を受けられる人数を条例で縛るのではなく、予算の範囲内でする方が賢明だと思います。

四点目は、奨学金の中止をする場合、返還を求める場合を明確に分けておく必要があるということです。

どうして反対????
多くの執行部の皆さんもビックリ!!
修正しておいた方がいいのに。すんぐに困ることになるのにおね。



病気などで卒業の見込みがなくなった方に対して、返還を求めることができるのでしょうか。

私たちが提案するこの修正案は、先日開かれた教育厚生委員会の論議をひまえたものです。委員会では、このままでもいいという意見は一つもありませんでした。そこで、執行部は今議会に条例案を提案していただきますので、「不十分だったな、しまったな」と、思っても修正することが出来ません。ボールはすでに議会に投げかけられているのです。私たち議会が、不十分なところを補い、修正することが求められていると思います。この修正動議を提案していることです。

提案者 大森陽子・黒木茂・西村導郎

放課後児童クラブ(学童)の充実を 特に施設整備を早急に

学童に対する国の支援は充実され、蓮池に学童ができた頃より予算も十倍を超え、施設整備は、国・県・市が負担するようになりました。

ところで、学童の実施設は専用スペースが求められておりますが、蓮池小学校の学童が利用しているコミュニケーションセンターは、他に施設の利用がある場合、学童は他の場所に疎開しなければなりません。また、第一小学校の二・三年生の学童は、地震が来たら一発で壊れそうな施設を賃貸しております。両施設とも、早急に専用施設を建てるよう求めました。

市長は、蓮池コミセンの問題点はお認めになり、検討を約束されましたが、第一小学校の場合は、他の公共施設を模索するとの答弁でした。しかし残念ながら、そういう公共施設は見あたりません。

民生委員の欠員を克服するための行政としての援助を

土佐市の民生委員の欠員は五名。欠員の原因の一つとなつてゐる個人情報保護の壁を乗り越える工夫をすることや、煩雑な仕事の整理を求めました。

子ども・子育て新システムの問題点

政府が進めている「子ども・子育て新システム」は、保育内容を大きくゆがめてしまひます。その一つは、国や自治体の保育に対する責任がなくなり、補助金が一括交付金として減額されること、二つめは最低基準が保障されず、保護者の経済力や住んでいる自治体により格差が広がること、三つめは保護者負担が大きくなることなどを示して、土佐市の保育行政に大きな影響を与えはしないかと質しました。これに対し市長は、土佐市への影響を認め、心配される点は市長会を通じて意見を述べていくと答えられました。

現場からも、保育を守る運動が必要と思ひます。

六月議会報告(一部)

核兵器廃絶をめざす

「平和市長会」への加盟を

去年、四月にオバマ大統領はプラハで核兵器削減をめざす演説を行い、国際世論を大いに励ました。

一昨年の二月、世界で唯一の被爆都市である広島・長崎の市長は、新たに「平和市長会」への参加を呼びかけ、今年五月現在で一八〇〇自治体のうち四〇%にあたる七三三が加盟し、高知県でも十一市のうち八市が加盟し、していないのは室戸市、南国市と土佐市のみです。加盟にはお金も要らず、核兵器に反対する市長の意思のみがあればよいのです。板原市長も、是非「平和市長会」に

加盟するように提言しました。

子供の医療費の無料化を早急に

県下三十七市町村のうち、中学校卒業まで無料化しているところは十五、小学校卒業までは四ヶ所です。実現に向けて具体的な検討を始めるように求めました。

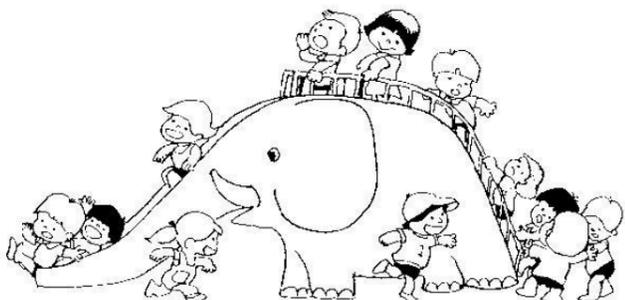
現在、四月実施に向けて方法の検討中です。

子供たちの笑顔はじける公園整備を

土佐市が管理をしている公園をウォッチングしましたが、ブランコと小さな滑り台がある程度の所が多く、楽しく遊ぶことができそうな公園はほとんどありません。遊具の古くなったものは撤去されたままです。

子ども達が一日中親子で楽しめる公園は、図書館、市民会館、若者定住住宅団地の整備など、都市計画の中で戦略的に計画するよう求め、いまある公園の早急な整備を提案しました。

- トンボ公園のトイレ改修と抜本整備は23年度に計画し、翌年実施されるようになりました。
- 蓮池池公園に簡易トイレが設置されました。



いよいよ市民図書館の改築を

森田前市長は、四十%の財政措置がある有利な街づくり交付金をチャンスと捉え、図書館建設を議会に提案したのですが、十対九という僅差で否

決されました。

しかし、あれから六年が経過し、本市の財政状況も六十一億円の基金を持つまでになりました。いまこそ、市民図書館の改築に向けて準備を始める時期が来たといえます。

農業や漁業、製紙業などに、本市の地場産業に関するものや郷土史の研究の拠点にするなど、本市にふさわしい内容にすることや、子育て支援を充実させることなどで、若者が土佐市で定住したくなるような、魅力ある街づくり計画と共に進めるよう求めました。

市長は、行政振興計画の早い時期に検討に入ると答えられました。

九月議会報告(一部)

特老建設は23年度策定の計画に29床を盛り込むよう検討すると答弁。

私らあ、国民年金しかないものが入所できる施設は特老しかないよ！
なんとしても実現させなくちゃあ!!



国保の低所得者に医療費窓口負担の軽減を医療難民を出さない国保行政を

議会の度に国保料が高すぎる、国保に一般財源の投入を、保険証がなくて命を落とすことがないようにと求めてきました。

市長は国保が高すぎることをお認めになられながら、一般財源の投入などに慎重な姿勢です。しかし、年末に行われた蓮池地区の懇談会で、国保の値上げをしないと説明されました。

土佐市の国保財源は底をつき、二十一年度決算で三百万円の赤字となっております。それでも値上げをしないという市長の決意は、市民の暮らしに思いをはせ、今はそんな時期ではないと判断さ

れた結果ではないかと推測します。

報告事項

旧国道より南 体育館東を流れる

火渡川両岸の道幅が工法変更で広がる

自治会の役割って大きいですね!

この件は両岸自治会のねばり強い運動と市長の英断で、計画より約一メートル広がることになりました。工法変更に関する費用は土佐市が負担し、来年度より三年計画で実施されます。私も議会でも、土佐市として県にアクションを起こすことを求めたり、伊野土木事務所へ陳情に行ったりしましたが、何よりも自治会の強い要望活動が大きな力になったと思います。

議会改革に向けて

土佐市議会の十六人の議員は今、市政のチェック機能を強化するための取り組みを進めています。こんな努力が個人的な報告でなく、市議会としてできればいいと思います。

土佐市議会の会派構成(○印が会派長)

青風会 ○森本耕吉・山脇義人・野村昌枝・戸田宗崇
市民クラブ ○浜田太蔵・江刺土佐生・山本竹子

近沢茂・田村隆彦

政和会公明 ○武森徳嗣・久保直和・三本富士夫

中田勝利

新生会 ○黒木茂・西村導郎・大森陽子

子どもたちは社会の宝物！
健やかな成長を保障するのは
私たちの役割です!!

